

1級キャリアコンサルティング技能士による実務指導に関する証明書

(国家資格キャリアコンサルタント登録更新申請用)



【集計表】にまとめる際、対応する「各証明書記載番号」を記入してください。

1. 更新申請者

フリガナ		キャリアコンサルタント登録番号
氏名		

※実務従事時間数と合計で10時間以内に限り技能の維持を図るための講習が免除されます。

2. 実務指導内容

			指導時間数合計	時間 分		
1	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
2	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
3	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
4	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
5	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
6	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
7	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
8	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
9	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
10	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	一対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要:			指導の要点と課題、今後の目標:		
キャリアコンサルタント登録番号			指導者確認欄:			
1級キャリアコンサルティング技能士合格番号			フリガナ: 指導者氏名:			
			印			

【注意事項】

- 「技能検定キャリアコンサルティング職種1級に合格したキャリアコンサルタントにより行われるキャリアコンサルティングの実務に関する指導」に該当するかどうかは、以下のいずれの項目にも適合するかを基準に個別に判断することになります。
 - 指導者は、技能検定キャリアコンサルティング職種1級に合格しており、かつキャリアコンサルタントであること。
 - 指導者から被指導者への指導が、一対一、または個別指導が成立する程度の一対少数（概ね6名以内）形態で、対面・応答的方式により行われること。
 - 指導が、被指導者がキャリアコンサルタントとして従事した事例に基づくものであること（職業キャリアの分野以外のカウンセリング事例に基づくもの等は対象となりません。）、また、指導者が被指導者のキャリアコンサルタントとしての課題や目標を把握した上で、これを踏まえキャリアコンサルティングの技能等に関して個別・具体的な指導を行っていること。
- 計上する時間は、指導を受けた時間のみを計上し、記録作成等の時間は記載しないこと。
- 当該指導者による実務指導が複数年度にわたる場合は、年度ごとに1枚とすること（一証明書内で年度をこえないようにすること）。
- 複数の指導者による実務指導を受けた場合は、指導者ごとに作成すること。